



編集 S E F事務局
連絡先 03-3358-4434
URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「未老先衰」

東洋医学に「未老先衰」という言葉があります。未だ年をとったと思っていない段階に既に身体各部に衰えが始まっているという意味です。通常はまだまだ若いとの意気込みのもとに衰えを自覚せず、又強がりから衰えを認めようとしない傾向にあるようです。

しかし何時の間にか脳、血管、内臓、骨、筋肉、皮膚、頭髪と身体各部が徐々に衰え、或る時外観は老け身体機能が衰え愈々年をとったなとはっと気が付く事が多いようです。不老長寿は夢物語としても衰えの始まる段階から意識して早め早めに対応して「抗老防衰」「還老返童」と生きたいものです。

この考えは人間のみならず社会組織体にも通じるところがあります。会社の寿命30年説が唱えられた時期もありましたが、S E Fも発足以来8年となり目に見えない組織劣化や機能低下の前兆がないか日頃の気配りが大切と思います。

06月度理事会より(第89回 6月14日)

- | | |
|---|---|
| 1 . 第8回通常総会実施要項 / 審議・承認 | 5 . 会計担当交代に関する諸事項の再確認
4月度理事会決定に従い遺漏無く実施する旨、再確認 |
| 2 . 会計ソフト変更の標準化 / 進捗報告・継続審議
新会計ソフトの完成と担当の引継を急ぐ | 6 . 準会員1名の入会受理 / 報告 |
| 3 . 事務所移転の件 / 審議・総会に上程
移転の余儀無き事情の発生と移転先探し | 同日、通常総会・会員連絡会・懇親会を開催 |
| 4 . 住重・豊後高田市「精密機能検査」業務受諾 / 審議・承認 | |

事業報告 「コミ研」の歩みと昨今

担当役員 小泉理事

コミ研の定例研究会がスタートしたのは平成16年5月でした。早いもので、今月の定例研究会で第57回を迎える事となります。その間に7回の宿泊合宿を行い、今秋にも8回目の合宿を計画中です。定例研究会では規定テーマに関する各自の研究状況の発表と討議を、合宿では集中研修と社会見学を原則としております。

実は、コミ研の通常活動(?)には上記以外にもう一つあり、仲間内では「ノミ研」と称しています。定例研究会の後に東京駅内某所で開かれる「定例ノミ会」は、当に談論風発、研究会や合宿以上(?)の盛上がり振りを呈します。紙幅の制約上、「ノミ研」の詳しいお話が出来ず残念ですが、最早「欠かせぬ活動」となった事をご報告しておきます。

S E Fサロン 第56回サロン講演者 松井清治氏 特別寄稿

サロン担当 水嶋靖昌

(本年3月24日にご講演願った松井様より、関連テーマでのご寄稿を戴きました)

キューバ旅行雑感 「キューバ式社会主義」

BSフジで放映されたマイケル・ムーア監督2007年制作の2時間に及ぶドキュメンタリー“SICKO”を観ました。米国の5千万人が無保険の医療保険制度を、政府の取り組みや民間医療保険業界の実態と欠陥、苦しんでいる国民の具体的な事例を次々に挙げて厳しく批判しているものでした。そして、英国及びフランスの優れた制度と比較、さらに最後の結びは、医療保険の適用を受けられず後遺症に苦しんでいる9.11の4人のレスキューチームを、ムーア監督がモーター舟で医療体制が完備しているグアンタナモ海軍基地に連れて行きます。受け入れを拒否されて、結局キューバに入国、無料で診断と治療を受けて感謝に涙するというキューバの医療体制を賞賛しているものでした。ゲバラの娘アレイダ・ゲバラ内科医が医師としての使命を語っていたのも印象的でした。以上

<次回開催案内> 日時：2010年8月25日(水) 18:00より 場所：青学会館内「フィリア」 03-3409-8187
講師：黒木安馬氏（元日本航空）

Institute of Success Technology Japan(日本成功学会) 代表取締役
演題：未定

06月度会員動向

準会員入会

丸山智弘さん（教育・研修事業部 推薦理事：石田）

06月末現在の会員数

正会員 37名

準会員 39名

賛助会員 3社